

# 自己資本比率(単体)

北海道信用金庫単体の自己資本比率は、**16.96%**で、経営体質は極めて健全です。

自己資本比率は、金融機関の経営の安全性・健全性を計る重要な指標のひとつです。信用金庫など国内で業務を行う金融機関では4.0%以上が必要とされております。

当金庫の自己資本比率は、16.96%と国内基準の4倍超の水準で、経営の健全性に全く不安ありません。

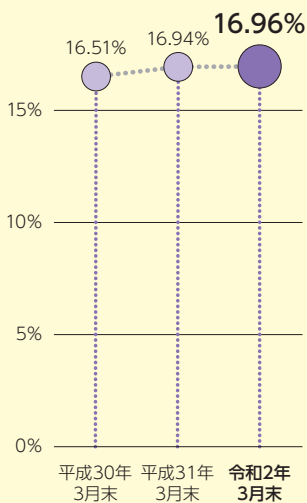
今後とも適正利益の確保による着実な自己資本の充実に努めてまいります。

(自己資本規制について、詳しくは本誌35ページをご覧ください。)

## I. 単体における自己資本の構成に関する開示事項

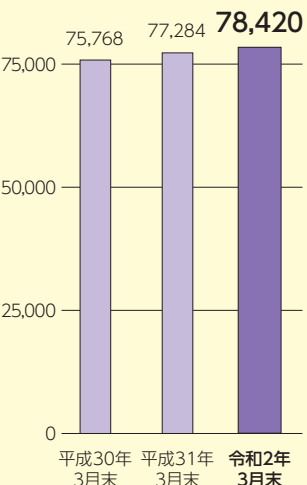
(単位:百万円)

### 自己資本比率(単体)の推移



### 自己資本の額(単体)の推移

(単位:百万円)



※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

※自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

項目	平成30年度	令和元年度
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	77,571	78,267
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,113	3,074
うち、利益剰余金の額	74,604	75,328
うち、外部流出予定額(△)	123	91
うち、上記以外に該当するものの額	△ 23	△ 43
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,683	1,878
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,683	1,878
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	79,255	80,146
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	978	817
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	978	817
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	693	578
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	299	329
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—
特定項目に係る10パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る15パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	1,970	1,725
<b>自己資本</b>		
自己資本の額[(イ)-(ロ)] (ハ)	77,284	78,420
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	432,637	439,858
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 4,875	△ 4,875
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 4,875	△ 4,875
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	23,487	22,265
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	456,125	462,124
<b>自己資本比率</b>		
自己資本比率[(ハ)/(ニ)]	16.94%	16.96%

# 自己資本比率(連結)

連結自己資本比率も、**16.99%**と、高い水準を維持しております。

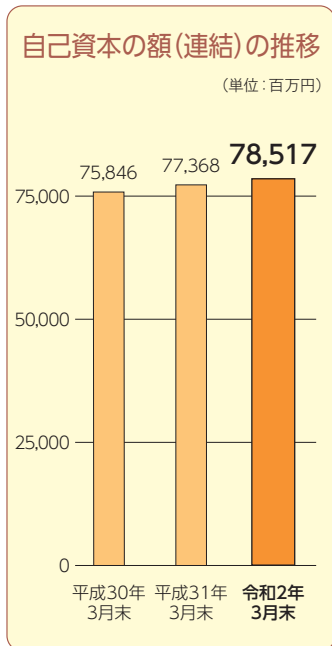
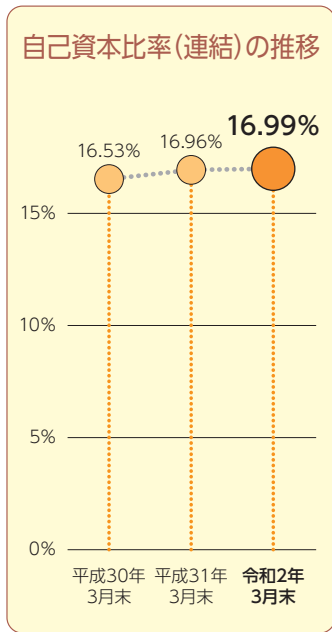
連結における自己資本比率についても、16.99%と高い水準にあり、経営の健全性に全く不安ありません。

※連結対象となる子会社は、以下の3社です。

- しんきん北海道ビジネスサービス株式会社
- しんきん北海道総合管理有限会社
- 株式会社しんきん北海道金融センター

## II. 連結における自己資本の構成に関する開示事項

(単位:百万円)



※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 ※自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。  
 なお、当金庫グループは国内基準により連結自己資本比率を算出しております。

項目	平成30年度	令和元年度
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	77,655	78,365
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,113	3,074
うち、利益剰余金の額	74,688	75,425
うち、外部流出予定額(△)	123	91
うち、上記以外に該当するものの額	△ 23	△ 43
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額又は評価・換算差額等	—	—
うち、為替換算調整勘定	—	—
うち、退職給付に係るものの額	—	—
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,683	1,878
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,683	1,878
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	79,339	80,243
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	978	817
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	978	817
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	693	578
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
退職給付に係る資産の額	299	329
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金金融機関等の対象普通出資等の額	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—
特定項目に係る10パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る15パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	1,970	1,725
<b>自己資本</b>		
自己資本の額[(イ)-(ロ)] (ハ)	77,368	78,517
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	432,632	439,855
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 4,875	△ 4,875
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 4,875	△ 4,875
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	23,482	22,259
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	456,114	462,115
<b>連結自己資本比率</b>		
連結自己資本比率[(ハ)/(ニ)]	16.96%	16.99%